

特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド(HFW)  
2016年9月度理事会 議事録

- 開催日時 2016年9月10日(土)14:10~17:10
- 開催場所 HFW 事務所
- 役員総数 10名(理事9名、監事1名)
- 出席者数 9名  
齊藤憲一郎理事長、星野直副理事長、関口和孝理事、西岡はるな理事、原田麻里子理事、渡邊奈美子理事、山本のり子理事、渡邊清孝理事・事務局長、矢崎芽生監事
- 欠席者数 1名  
犬嶋由香里理事

■議事

1. 開会(司会:渡邊理事・事務局長)
2. 出欠確認(上記の出欠状況が報告された)
3. 理事長挨拶
4. 議事録署名人任命  
原田理事、渡邊理事・事務局長が、齋藤理事長より任命された。
5. 前回理事会議事録の確認
6. 議事

【審議事項】

◎1) SR方針案／人権方針案／パワーハラスメント防止規程案

事務局長より資料①-1~3の議案が上程され、ですます調の校正の他、パワーハラスメント防止規程については以下の要点を修正し、次回理事会で継続審議となった。加えて、人権方針規程の支部への導入の際、具体的な人権侵害に該当する例を提示するなど、腑に落ちるガイダンス実施の指示が事務局になされた。

- ・食ハラ／アルハラは、「その他多様化するハラスメントに留意する」等の表現に改める。セクハラ防止規程は存在する都合上、「セクハラは別途規定する」等の表現に改める。
- ・苦情／相談体制について、役員からの相談に必要な理事長を加える。
- ・加害者を被疑者に変更する。
- ・罰則の内容は、別途理事会で判断するよう改める。

◎追加議案) 情報発信ガイドライン

原田理事より、適応範囲が記されたガイドラインが上程され、以下の点を修正することで可決された。

- ・1行目の「HFWに関わる個人」を「HFWに関わる個人が行う」に修正
- ・文中の「YEH」を「ユース・エンディング・ハンガー(YEH)」に修正

【報告事項】

◎2) 財務

事務局長より資料②の報告がされた。

◎3) 会員・ひとつぶ募金拡大状況

事務局長より、資料③の報告がされた。理事長より、大口ドナー対応について、関口理事と事務局で協議し、次回理事会で対応策を上程することが指示された。

◎4) 組織運営／社会的責任／広報／資金調達／地域開発／アドボカシー／啓発活動／青少年育成

事務局長より資料④-1、2、6、広報担当職員の糟谷より資料④-3、資金調達担当関口理事より④-4、地域開発担当職員佐藤より資料④-5、啓発活動担当職員の儘田より資料④-7、青少年育成担当職員の熊坂より資料④-8の報告がされ、以下の対応がなされた。

(地域開発)

- ・ウガンダでの日本 NGO 連携無償資金協力補助金で実施予定の協同組合事業について、トラクタ一購入は事業収益の中で購入すべきではとの意見が理事長よりあり、次回理事会で購入のニーズについて報告することとなった。
- ・佐藤氏のバングラデシュ渡航について、現在、事務局で作成中の危機管理対策に従うこと、並びに事務所での宿泊も視野に入れ、移動に関し細心の注意を払いながら実施することが確認された。

◎5) ベナン／ブルキナファソ内部監査報告書

ベナン支部担当職員の田村より資料⑤-1、2 の報告があり以下の対応がなされた。

- ・資料「2015 年度ブルキナファソ支部内部会計監査報告」の監査対象期間(1 ページ)を以下の通り修正する。

誤: 2015 年 7 月～2015 年 12 月(2015 年度第 2 四半期～2015 年度第 3 四半期)

正: 2015 年 1～12 月(2014 年度第 4 四半期～2015 年度第 3 四半期)

- ・矢崎監事より、全支部で現金実査確認を行う必要性が話され、そのように行う。
- ・ブルキナファソのケアレミスが継続する点について、責任の重要性を周知徹底する。

◎前回議事録の承認

異議なかったため、自動承認された。

◎その他

次回理事会は別途、調整することとなった。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人が下記に署名する。

2016 年 10 月 18 日

議長

齋藤 忠一郎 

議事録署名人

原田 麻里子 

渡邊 清孝 